



窓が大きくとってあるので、買い物や食事をしながら高雄港の風景も楽しめる KW2

高雄港ターミナルが熱い！  
**注目スポット**  
**KW2** へようこそ  
 構成クルーズ編集部



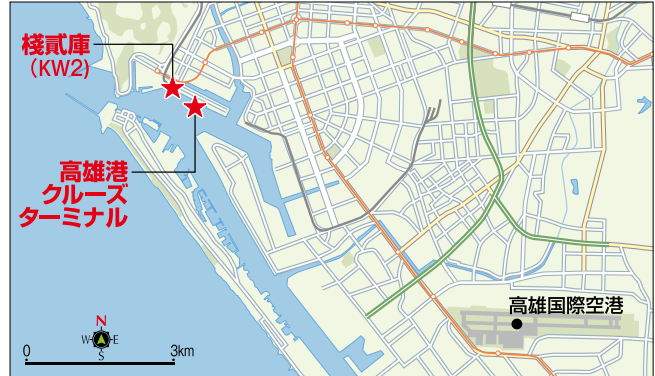
**地元産シーフードの名店**  
**小紅麵店**

シーフードを食べるならこちらがおすすめ。新鮮な魚介を使った台湾伝統の味をお手頃価格で楽しめる。おすすめはなんといっても各種シーフードのグリル。牛肉麺やルーロー飯など庶民的なメニューも人気。



**台湾クラフトビールの草分け**  
**掌門精釀啤酒**

2014年に台北でオープンして以降人気となり、香港や深圳にも支店を持つブルワリー。天然素材にこだわった自家醸造ビールを台湾フードとともに楽しめる。メニューには台湾茶やフルーツもある。



**台湾伝統スイーツをモダンに**  
**小本愛玉**

酸味がさわやかな台湾名物のスイーツ「愛玉」の店。手作り・無添加の愛玉がバラの形をしていたり、シロップの甘さが選べたり、タピオカや豆花(甘い豆腐)と組み合わせられるなど、新しい感覚を取り入れている。



**地元っ子お墨付きの乾物店**  
**超大食品**

高雄の有名乾物店。素材にこだわった乾物は余計な味付けをしておらず、食材本来の味を楽しめる。人気商品は豚の干し肉。ドライフルーツではマンゴー、レモン、オレンジがおすすめ。軽い日持ちするのでお土産にも最適。



**楽しいミニ列車ツアー**  
**高港小火車**

KW2と第7ふ頭のウォーターフロントガーデンを約10分で往復するミニトレイン・ツアー。かつて鉄道が倉庫とふ頭をつないで砂糖を運搬した歴史を振り返りながら、高雄港の風景を楽しむことができる。



**レトロモダンな柄が魅力**  
**山津塩**

高雄の西に位置する旗津半島の伝統的な漁船旗の復興を目指すチームが運営するショップ。シルクスクリーンで、無地のテーブルマットやトートバッグに漁船旗をアレンジした柄を印刷することができる。

庶民的な屋台文化が残る一方ハイセンスなスポットも多く、海外旅行先として根強い人気を誇る台湾。近年はクルーズの寄港地としても存在感を増している。  
 台湾南部に位置する台湾第3の都市・高雄も多くのクルーズ船が訪れる人気寄港地。高雄港の客船ふ頭の近くには日本統治下の1914年に建設された砂糖倉庫が残っている。この倉庫は第二次世界大戦中に爆撃されたが、1962年に再建。2013年に高雄市政府から史跡に制定された。その後大胆なリノベーションが施され、去年3月、商業施設KW2 (Kaoh

siung Port Warehouse No.2 / 棧貳庫)として生まれ変わった。  
 元倉庫ならではの広々とした空間には約60の店舗が入っており、台湾ブランドのおしゃれ雑貨のほか、台湾料理やクラフトビール、各種スイーツなど多彩なグルメもそろろう。さらに週末の16〜20時にはミュージシャンやマジックなどのパフォーマンスが登場して雰囲気盛り上げる。観光客だけでなく地元っ子にも人気の、高雄で最もホットなスポットの一つだ。客船ターミナルからすぐなので、寄港地観光の前後に気軽に立ち寄れるのもうれしい。